

MRAPID

Monthly Report on Aomori Prefectural Infectious Disease

青森県感染症発生情報

青森県感染症情報センター

(青森県環境保健センター内：担当 微生物部)

2005年12月 (2005年1月20日発行)

TEL 017-736-5411 FAX 017-736-5419

青森県環境保健センターホームページ

<http://www.pref.aomori.lg.jp/eiken/index.html>

1. 第49週から第52週(12月5日～1月1日)までの動向

1) STDは11月に比べて患者数が若干減少しました。特に20代前半の女性の患者数が減少しました。また、疾病別では、淋菌感染症が増加し、性器クラミジア感染症及び尖形コンジローマが減少しました。

2) 全数把握届出疾患は次のとおりです。

上十三保健所管内 腸管出血性大腸菌感染症：1名、つつが虫病：1名

2. STD発生状況

1) 保健所管内別

	青森		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計	
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点
75 性器クラミジア	10	3.33	10	3.3	9	4.50			1	0.50			30	2.31
76 性器ヘルペス	1	0.33	2	0.7	4	2.00							7	0.54
77 尖形コンジローマ	1	0.33			2	1.00			1	0.50			4	0.31
78 淋菌感染症	4	1.33	2	0.7	4	2.00			1	0.50			11	0.85

2) 年齢別・性別

年齢	75 性器クラミジア		76 性器ヘルペス		77 尖形コンジローマ		78 淋菌感染症		青森県計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
0～1										
1～4										
5～9										
10～14										
15～19		5					1	1	1	6
20～24	6	6	1		2		2		11	6
25～29	2	2	1		1		1	1	5	3
30～34	2	1	1		1		2		6	1
35～39		3		1			2		2	4
40～44		1	1				1		2	1
45～49			1	1					1	1
50～54	1								1	
55～59										
60～64	1								1	
65～69										
70～										
合計	12	18	5	2	4		9	2	30	22

3. 薬剤耐性菌発生状況

1) 採取部位別

	採取部位別											青森県合計
	喀痰	留置カテーテル	術創部(創部感染)	耳漏液	気管洗浄液	血液	髄液	胸水	腹水	膿	その他	
85 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1										4	5
81ペニシリン耐性肺炎球菌感染症												
86 薬剤耐性緑膿菌感染症												

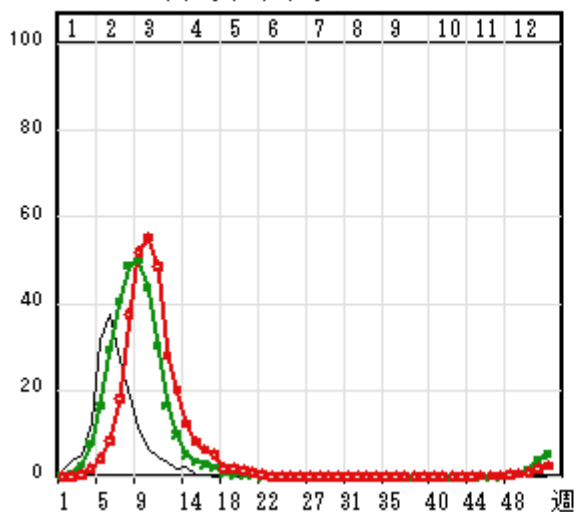
4. 全数把握感染症 (2005年)

	疾患名	青森県		全国			疾患名	青森県		全国	
		当月	累計	当月	累計			当月	累計	当月	累計
1類 感染症	1 エボラ出血熱					4類 感染症	32 日本紅斑熱			1	36
	2 クリミア・コンゴ出血熱						33 日本脳炎				6
	5 ベスト						34 ハンタウイルス肺症候群				
	6 マールブルグ病						35 Bウイルス病				
	7 ラッサ熱						36 ブルセラ症			1	1
	8 急性灰白髄炎						37 発しんチフス				
	9 コレラ			3	49		38 ボツリヌス症				
2類 感染症	10 細菌性赤痢		1	20	483	39 マラリア			1	45	
	11 ジフテリア					41 ライム病				5	
	12 腸チフス		1	1	40	43 レジオネラ症		1	11	193	
	13 パラチフス		3		14	45 アメーバ赤痢		3	19	331	
3類	14 腸管出血性大腸菌感染症	1	18	77	3,129	46 ウイルス性肝炎		1	5	109	
4類 感染症	18 エキノコックス症				7	47 急性脳炎					
	19 黄熱					48 クリプトスポリジウム症				5	
	20 オウム病			2	27	49 クロイツフェルト・ヤコブ病		1	3	70	
	21 回帰熱					50 劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1	4	26	
	22 Q熱				4	51 後天性免疫不全症候群		9	40	521	
	23 狂犬病					52 ジアルジア症			4	40	
	25 コクシジオイデス症				2	53 髄膜炎菌性髄膜炎				4	
	27 腎症候性出血熱					54 先天性風しん症候群			1	1	
	28 炭疽					55 梅毒		2	22	284	
	29 つつが虫病	1	18	47	204	56 破傷風		2	4	50	
	30 デング熱				47	58 パンコマイシン耐性腸球菌感染症		1	2	29	

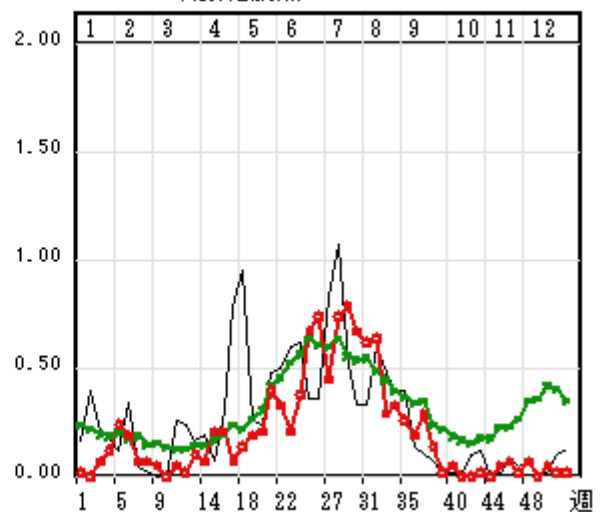
5. 定点把握感染症の推移

○—○ : 当年(青森県) — : 前年(青森県) ×—× : 当年(全国)

(人/定点) インフルエンザ



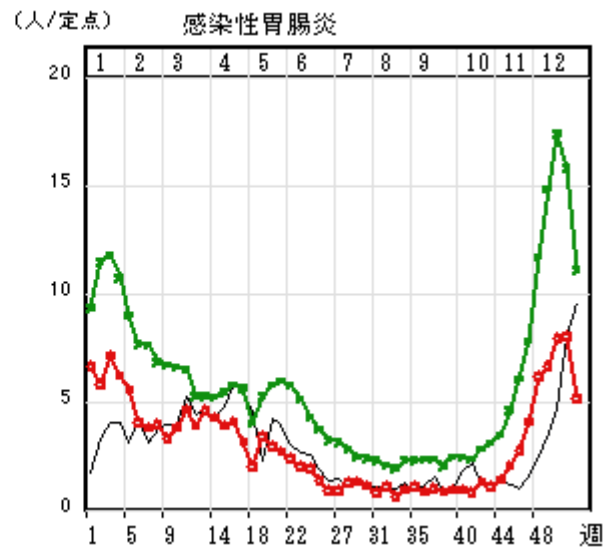
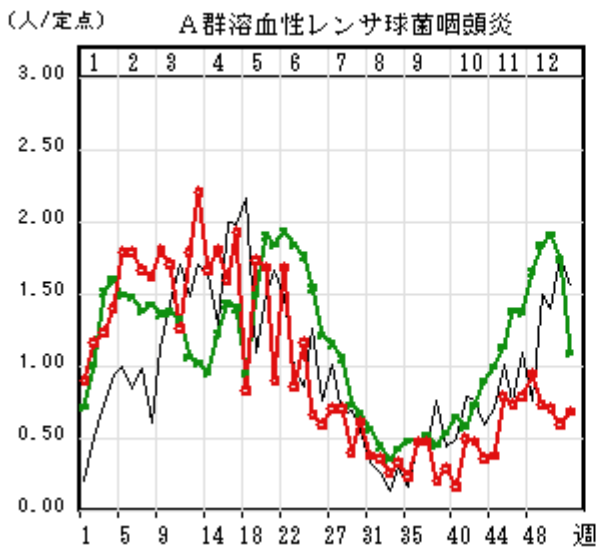
(人/定点) 咽頭結膜熱



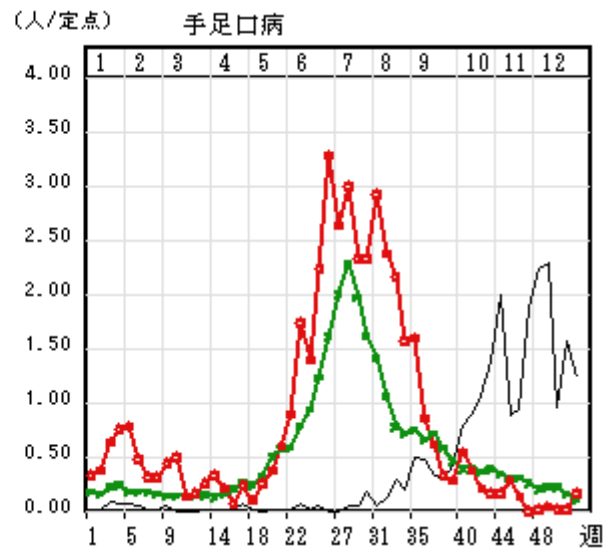
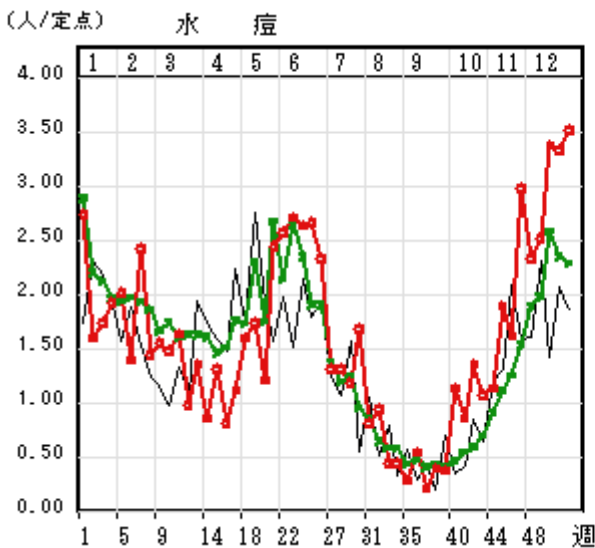
インフルエンザは、45週から発生が報告され増加傾向にあります。

咽頭結膜熱は、低く推移しています。

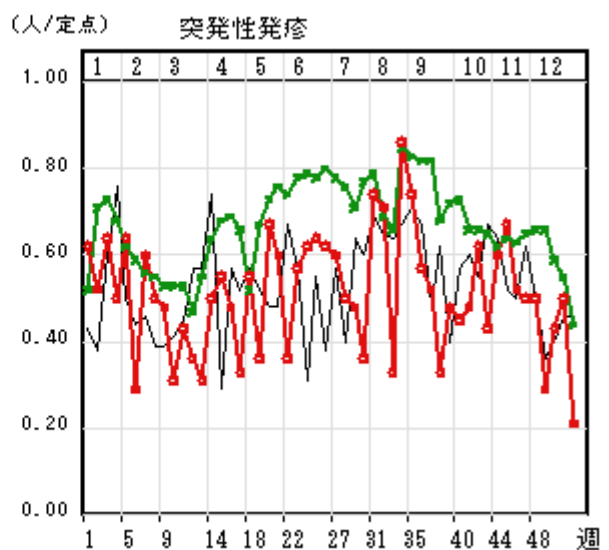
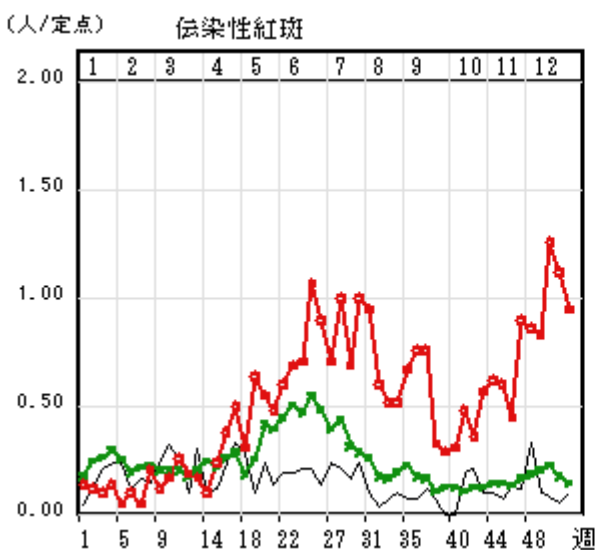
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎及び感染性胃腸炎は、減少傾向を示しました。

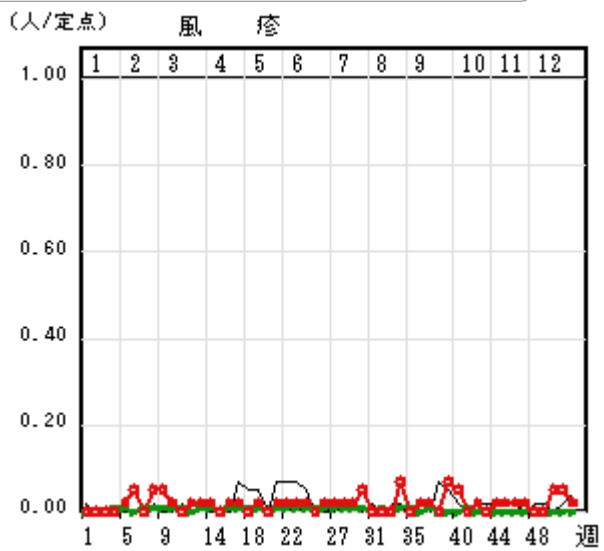
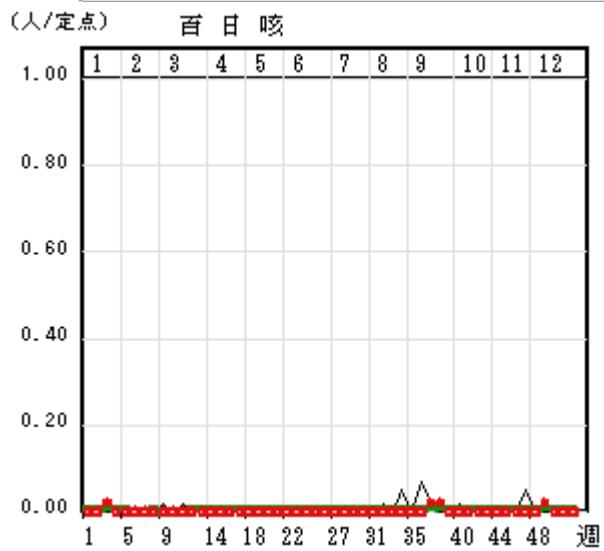


水痘は、再び増加し、52週がピークになりました。手足口病は、低く推移しています。

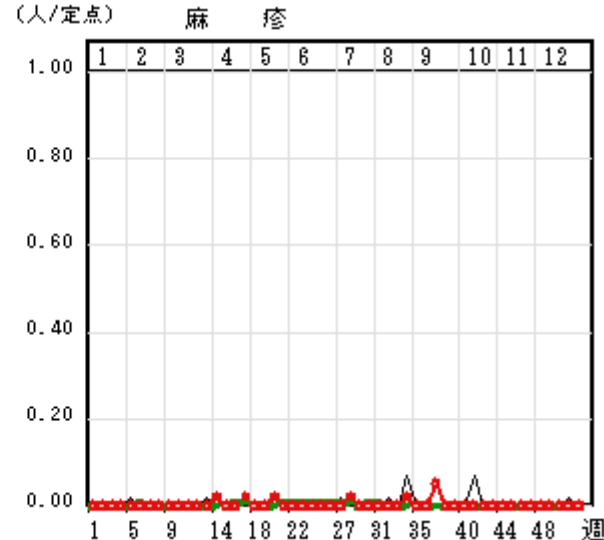
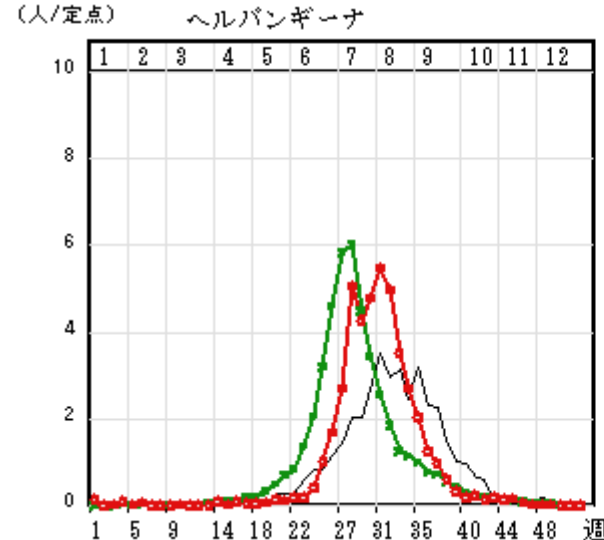


伝染性紅斑は、50週をピークに減少傾向にあります。突発性発疹は、昨年とほぼ同じ状況で推移しています。

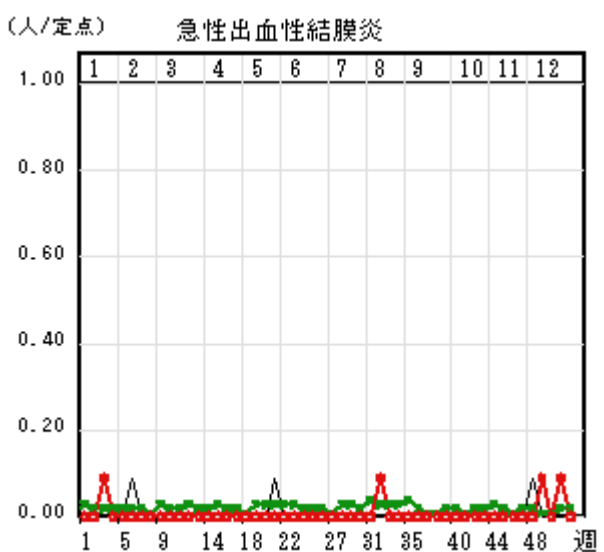
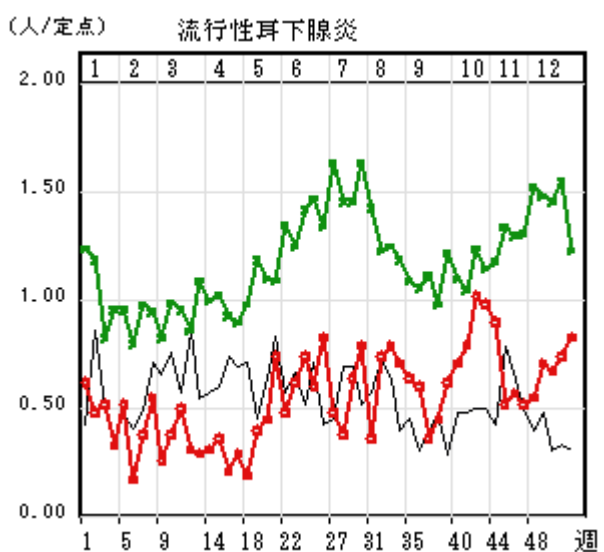
○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



百日咳は、49週に1件の発生報告がありました。風疹は、低い値で推移しています。

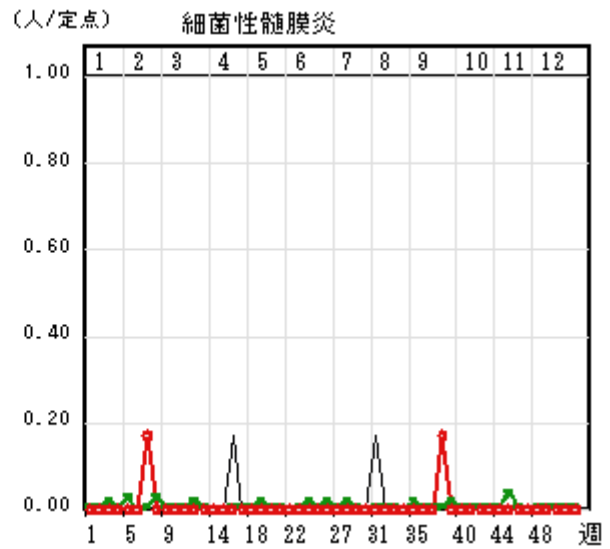
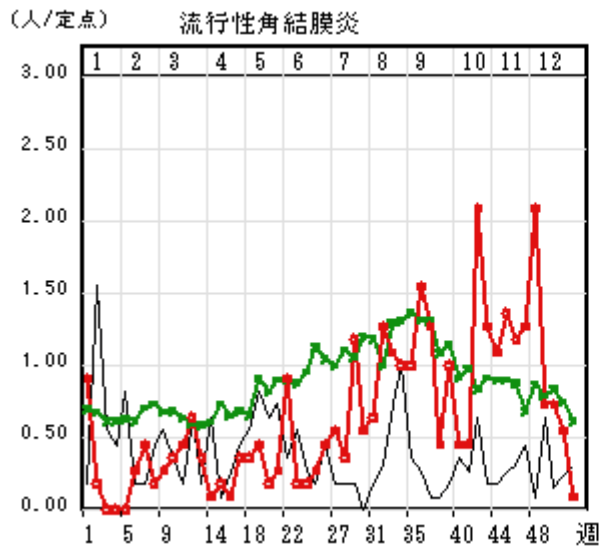


ヘルパンギーナは、49週に1件の発生報告がありました。麻疹は、当月中の発生報告はありませんでした。

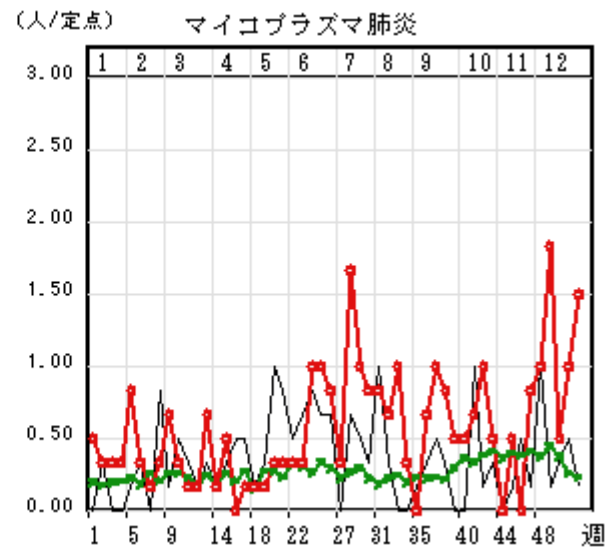
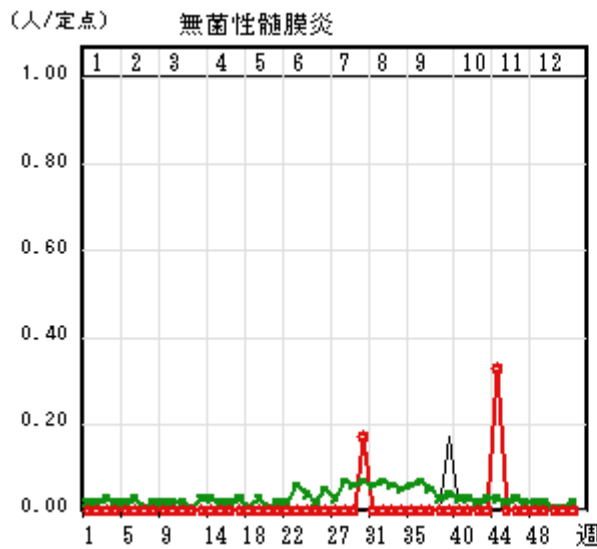


流行性耳下腺炎は、増加傾向にあります。
急性出血性結膜炎は、49週に1件、51週に1件の発生報告がありました。

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)

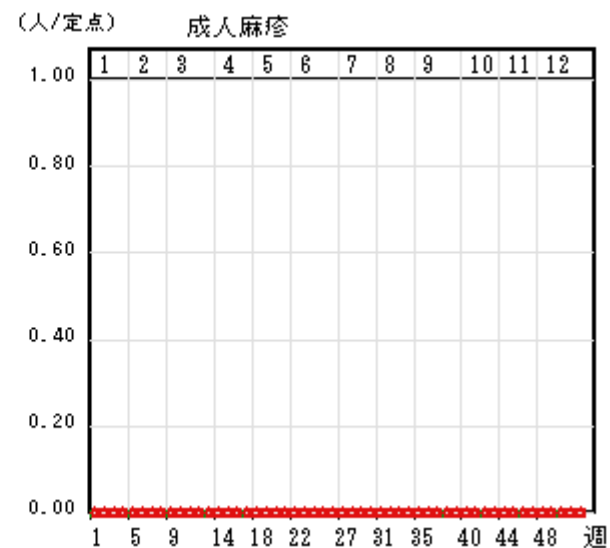
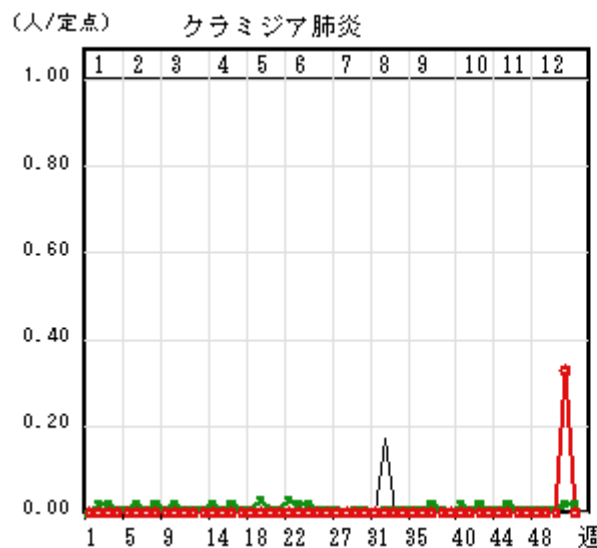


流行性角結膜炎は、減少しました。細菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。



無菌性髄膜炎は、当月中の発生報告はありませんでした。

マイコプラズマ肺炎は、増加傾向にあります。

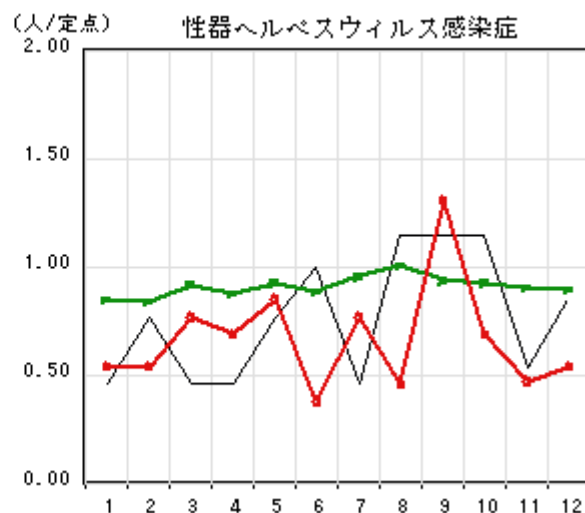
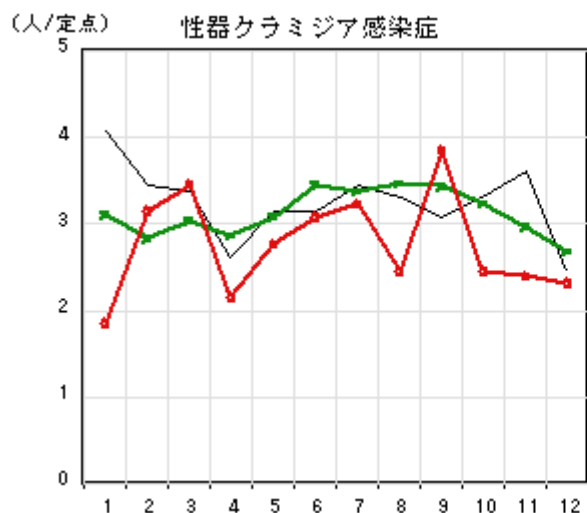


クラミジア肺炎は、51週に2件の発生報告がありました。

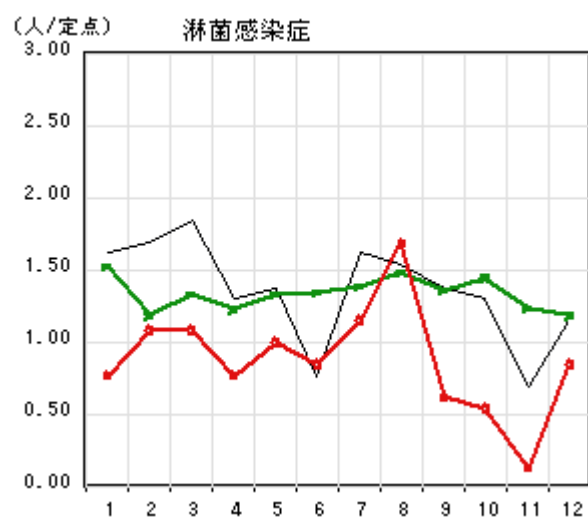
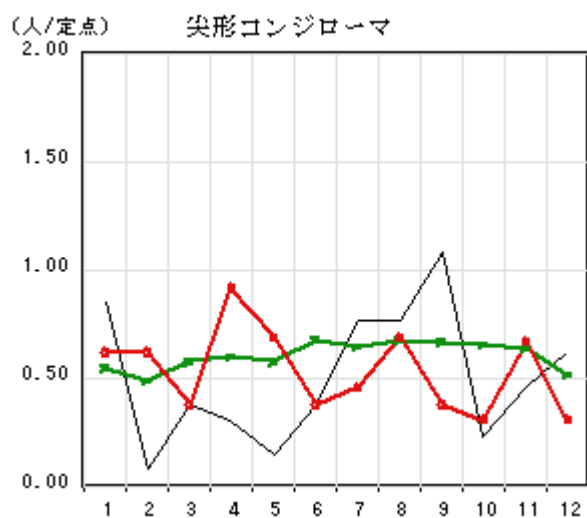
成人麻疹とも当月中の発生報告はありませんでした。

6.STD 感染症の月別推移

○—○ : 当年 (青森県) — : 前年 (青森県) ×—× : 当年 (全国)



性器クラミジア感染症は、横ばい状態です。性器ヘルペスウイルス感染症は、減少傾向にあります。



尖形コンジローマは、減少傾向にあります。淋菌感染症は、増加傾向に転じました。